

洞爺夏まつり

多彩に開催



有志により、差し上げられた「ちょうさ」

洞爺村商工会・洞爺観光協会主催の洞爺夏まつりが、七月三十日洞爺水の駅ふれあい中央広場などを会場として行われました。

午前九時半、可愛らしく化粧した稚児行列に始まり、十時からは浮見堂公園で、聖徳太子祭が行われました。

夕方からは、広場に生ビールや焼きそばなどの屋台が並び、バンド演奏が繰り広げられました。今年は、洞爺中学校吹奏楽部の見事な演奏が加わり、村民や観光客の皆さんの大きな拍手を浴びました。

午後七時からは、恒例の山車や「かつぐ会」のちょうさ、「むらびと踊る社中」のよさこいソーランなどのパレードで、

一層盛り上がり、初めて子供山車が用意され、保育所幼児も練り歩きました。

財田町の皆さんも、役場での歓迎式後に夏まつり会場に入り、財田町から贈られたちょうさや鮮やかに描かれた山



きれいに化粧をしてもらい市街地を練り歩く

車などに盛んに拍手を送っていました。

最後は恒例の盛大な花火が、真夏の洞爺村の夜空を染め、集まった人々の目を楽しませました。



保育所幼児も練り歩いて花をそえる



洞爺中学校による吹奏楽の演奏